

和気町議会だより

# 和気議会 NAVI

和気町議会  
第70号  
令和5年  
9月定例会

2 特集 中学生模擬議会

4 請願陳情・臨時議会 5 質疑と答弁  
7 委員長報告 10 一般質問





次世代の声を町政に！

# 和気町

# 中学生模擬議会

開催!



中学生の主権者教育を進めるため「中学生模擬議会」が開催されました。

9月1日(金)に本庁舎議場で行われた「中学生模擬議会・一般質問」は、1人20分以内、同一項目につき質問回数2回以内を原則に、一問一答方式で行われました。

それでは、通告順位にしたがって、**1番 國近悠真議員**に質問を許可します。



関連記事

町広報誌10月号特集「和気町の未来を担う子どもたち」

こばやし ひびき  
**小林響** 議長(和気中学校3年)

1番

くにちか ゆうま  
**國近悠真** 議員  
(和気中学校3年)



## 子どもの体験活動について

現在、部活動の地域移行が進められているが、子どもがスポーツや文化活動に触れる機会を減らさないでほしい。また、町の施設を活かした体験活動や交流ができるイベントを増やしてほしい。

徳永 教育長

今ある部活動が地域で活動できるよう、指導者の発掘や活動場所の確保を行うとともに、町民が参加しやすい、してみたい、して良かったと思える体験活動やイベントを行ってきたい。

2番

のやま なおひろ  
**野山尚裕** 議員  
(佐伯中学校3年)



## 安心・安全なまちづくりについて

佐伯地域は街灯が少なく暗くて怖いところも多いので、街灯を増やすことはできないか。街灯やカーブミラーの新設や修繕はどのようにして決まるのか。通学路の幅を広げるとより安全に通行できると思うが、そのような計画はないか。

太田 町長

町では、街路灯の設置について基準を設け、児童や生徒が利用する通学路の安全確保に取り組んでいる。修繕については、現地を確認して緊急性の高いものから行っている。通学路の安全確保は、各区からの意見を聞いて取り組んでいきたい。

3番

たに ゆきは  
**谷 雪羽** 議員  
(和気中学校3年)



### 和気閑谷高校の魅力化 推進について

和気閑谷高校の魅力が地元に関わらず、和気町で育った子どもたちが憧れる高校となっていないのでは。そこで、町が力を入れている英語活動を取り入れた英語で授業するクラスをつくってはどうか。

太田 町長

高校魅力化を進めるにあたって、和気町出身生徒からの発信などSNSの積極的な活用や、英語で授業をするクラスづくりなど、和気閑谷高校に提案していきたい。

4番

いのうえ はると  
**井上 晴渡** 議員  
(佐伯中学校3年)



### 旧山田小学校の利活用について

山田小と佐伯小が統合されて7年目。佐伯小学校では「山田小プロジェクト」を行い、地域もそれに応えてくれている。町として旧山田小学校を今後どのように活用していくのか。

太田 町長

地域に愛されている旧山田小学校は貴重な財産で、皆さんの意見を踏まえ町の魅力、地域の活性化の拠点として最大限に活かしていきたい。

5番

いが ふみたけ  
**伊賀 文健** 議員  
(和気中学校3年)



### 安全な登下校のための 通学路について

安養寺橋から日室方面に抜ける通学路は見通しも悪く、カーブミラー以外の対策が必要では。また、和気中学校入口の信号から校門前までの狭い道に自転車道を整備してほしい。

太田 町長

町では、高架周辺の交通安全性対策に取り組んでいる。今後も町道の拡幅など安全性を高めていきたい。和気中学校入口の町道には通学路対策として待避所の設置を実施し、通学路の安全性を高めてきたが、更なる安全確保に向けて改善を考えていきたい。

6番

はた ゆうき  
**畠 祐葵** 議員  
(佐伯中学校3年)



### 和気町の景観向上について

町内でのポイ捨てがとても気になるが、どのような対策を考えているのか。まちを綺麗にすることで、もっと住みやすく魅力的なまちになると思うが。

今田 副町長

年2回の町内一斉清掃や、ゴミの不法投棄対策として監視カメラの設置や町内パトロールなどを行っている。心地よい住環境の創出やまちの魅力向上に向けて、環境美化に取り組んでいきたい。

7番

みやお くるむ  
**宮尾 紅夢** 議員  
(和気中学校3年)



### 青少年交流事業の復活について

町内中学生は、カナダ・ハナ町や上海・嘉定区に短期留学する機会があったが、コロナ禍で中止になっている。青少年交流事業を復活してほしい。異文化理解を深める場を設定して、町から海外へ魅力を発信できるようにしてほしい。

徳永 教育長

交流事業はコロナ禍によって中止になって以降、再開できていないが、現在、オンラインによる遠隔交流をオーストラリアと行っているので、青年交流事業の相手先として実施を検討していきたい。

8番

せぎね はいち  
**関根 葉一** 議員  
(佐伯中学校3年)



### 佐伯中学校が設置した看板の 修繕について

県道と国道がぶつかるT字路に、佐伯中学校が設置した看板があるが、かなり古くなっていて本来の役割を果たせていない。佐伯中学生徒会では町の印象アップのため、看板を新しく作り直したいと考えているが、かなりの予算が必要で、生徒会やPTAの予算だけでは足りないのでは、町で補助してもらえないか。

徳永 教育長

町としては、当時の生徒の交通安全に対する願いのこもった看板でもある。生徒会に看板のデザイン作成をお願いし、経費は生徒会やPTAに負担をかけないように、今年度中の設置を目指して早急に対応していきたい。

# 9月 議会定例会より



9月議会の  
動画一覧は  
こちら!

## 請願・陳情

- 請** 「学校給食費の無償化」を国に求める請願  
提出者：新日本婦人の会にじのわ班 原田 亜希子 **審議結果** 全会一致で採択
- 請** 従来型の健康保険証の存続を国に要請することの請願書  
提出者：和気・備前革新懇 会長 田口 豊作 **審議結果** 全会一致で趣旨採択
- 陳** 教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げをはかるための、  
2024年度政府予算に係る意見書採択の陳情について  
提出者：岡山県教職員組合東備支部 支部長 片上 規夫 **審議結果** 全会一致で採択

## 臨時議会

議案番号	件名	審議結果
令和5年8月21日	議案第59号 令和5年度和気町一般会計補正予算(第4号)について	全会一致で <b>可決</b>
	議案第60号 工事請負契約の締結について (和気町益原多目的公園遊具更新工事)	全会一致で <b>可決</b>
	議案第61号 工事請負契約の締結について (和気鶴飼谷温泉ESPポンプシステム機器更新工事)	全会一致で <b>可決</b>
	議案第62号 令和5年度和気町上水道事業会計補正予算(第1号)について	全会一致で <b>可決</b>



# 質疑と答弁

本会議において次のような質疑と答弁がありました。



令和4年度  
一般会計決算認定

空き家改修補助金  
100万円は

広瀬 正男 議員

Q この補助金は、移住者の方の改修  
工事費か。

A 寺尾 まち経営課長

町外から移住された方、また、移住  
されてから1年以内の方を対象にした  
補助金。購入または賃貸で借りられた  
空き家の物件を改修するためのもの  
で、補助の上限は50万円である。令和  
4年度は2件が対象となった。

モバイルルーター通信料とは

西中 純一 議員

Q モバイルルーター通信料預かり金  
18万5350円の内容は。

A 新田 教育次長

インターネット環境のない家庭の児  
童・生徒のためにモバイルルーターを  
整備して貸し出しをしている。その保  
護者負担分である。



貸し出し用モバイルルーター

学校施設のトイレ改修は

万代 哲央 議員

Q 学校施設のうち、トイレの床の乾  
式化、洋式化、自動水栓などの工事を  
行っているが、子どもの反応はどうか。

A 徳永 教育長

トイレの洋式化をすすめることで、  
家庭での生活がそのまま学校生活で  
も同じ生活となって、非常に快適で、学  
校生活が充実したものになる。  
障がいがあるなしかかわらず、全  
ての子どもが同じ教育の場で、生活する  
上で非常に意義があると思う。



バリアフリー化した佐伯中学校のトイレ

いきいき長寿表彰制度の  
見直しを

居樹 豊 議員

Q 介護予防の啓発などに貢献して  
きた高齢者に対する記念品の額の引  
き上げや、対象年齢の引き下げ等の  
見直しを行ってはどうか。

A 万代 民生福祉部長

この制度は、平成25年度からスタートし  
ていて、見直しを含めて検討していきたい。

車検費用は適正か

山本 稔 議員

Q 公用車の車検費用の内容と、車両  
管理責任者はいるのか。

A 永宗 総務部長

特殊車両とスクールバス等は町内業  
者の決まったところで受けている。また、  
一般車両は町内業者にはほぼ均等に割り  
振っている。

車両管理は各課で行っていて、車検  
単価の詳細な分析はしてないが、妥当  
な金額請求であることを確認し、支払  
いを行っている。



令和5年度購入の  
公用車(電気自動車)



その1



その2



その3

令和4年度国民健康保険  
診療所特別会計決算認定

日笠診療所の診療日数は

西中純一議員

Q 診療日数が増えたのになぜ外来  
収入が減ったのか。

A 竹内 住民課長

一日の患者数が伸びていない。また、  
ワクチンの接種収入が減ったため、減  
額になっている。



日笠診療所  
診療期日 月曜日から金曜日(9:00~12:00)

令和5年度一般会計  
補正予算(第5号)

産業振興施設整備事業  
基本計画作成業務とは

西中純一議員

Q 農産物直売コーナーの調査委託  
料629万円について、佐伯地域の  
振興に対してある程度責任をもって  
やっていくべきであると思うが、ど  
ういう意義があるか。

A 岡 産業振興課長

この事業の構想案として、佐伯地  
域への新たな賑わいや、地域資源を活  
用した観光拠点づくりをキーワード  
としている。町や地元産の農産物や  
特産物の販売、隣接している片鉄口マ  
ン街道や天神山登山道などの地域の  
名所を生かした観光情報の発信、さ  
らに地域資源を活用した新たな魅力  
を創出したいと考えている。  
地域の意向も盛り込み、特色ある  
事業が行えるよう、基本計画の作成  
に取り組んでいきたい。



産業振興施設の整備計画予定地の岩戸区河本区内

集落内の防犯カメラ設置  
事業の内容は

居樹 豊議員

Q 集落内の防犯カメラ設置事業補  
助金について、上限20万円で、事業費  
の2分の1を補助する事業だが、ど  
のように実施していくのか。

A 河野 危機管理室長

本事業は、犯罪を防止する目的で、  
不特定多数の方が利用する道路、公  
園、駐車場などに設置するものである。  
区長の要望に応じて設置をする新た  
な項目で、10月1日からスタートした  
と考えている。



令和4年度に設置した防犯カメラ  
(駅南駐車場内)

# 委員長報告

和気町議会には、2つの常任委員会と1つの特別委員会があり、付託された議案について、特に詳しく審議します。



## 総務文教 常任委員会

### 令和4年度一般会計 決算認定

Q ストレスチェック検査委託料について、対象は全職員なのか。また、いつ頃実施しているのか。

A 正職員及び会計年度任用職員合わせた全職員を対象に年1回実施している。検査結果はそれぞれ職員本人に通知され、高ストレスであるとの診断が出た職員については、医療機関の受診や相談センターへの受診勧奨を行っている。

Q お試し住宅家賃に関連して、実際にお試しを行った方のその後の状況はどうなっているのか。

A 令和4年度の利用実績は15件で、そのうち町内に移住されたのは3組6名である。今後も、少しでも移住に結びつけるように取り組んでいきたい。



岩戸区天瀬のお試し住宅

Q 空き家バンクへの登録について、公開している価格が一般市場価格より高いようだが、売り出し価格等は不動産業者により検討されているだろうか、一般より高いとの認識はあるのか。

A この制度は空き家の利活用に困らしている方に対して、町が不動産業者との仲介をする業務である。申請が出ると不動産会社複数社を招いた下見会を行い、所有者が不動産業者を決め、その後販売価格や賃貸料の金額も決定している。なお、町からはアドバイスなどは行っていない。

## 辺地に係る公共的施設の 総合整備計画の策定

Q 辺地の整備計画における辺地の指定基準はどうなっているのか。中心部からの距離や学校の有無などにより指定を受けると理解しているが、昨年度までに何区指定されているのか。

A 辺地は、区からの申し入れではなく、町が毎年辺地調査を行っている。要件は、集落に50人以上いる区域で、区域内の1坪当たりの宅地価格が一番高いところを中心地に設定して、公共施設等への距離などの点数化により指定されている。町内17地区が指定されていて、行政区だけではなく小さな集落も指定されている。

## 「学校給食費の無償化」を 国に求める請願

### 委員からの意見

今の時代に生きる私たち大人として、子どもたちにできることは学校や教育に関することである。子どもたちや教育に関することは採択してほしい。

## 厚生産業 常任委員会

### 令和4年度和気町一般会計 決算認定

Q 子ども・子育て支援事業として、子ども家庭総合支援拠点を設置しているが、こども家庭庁が提唱する、こどもまんなか応援サポーターへの参加を宣言する意向はあるのか。

A 何か新しい事業を行うときでないと、有名無実になるため、令和6年度へ向けて新しい事業を計画し、それに合わせて宣言を行いたい。



岡山県の事業で整備された  
本庁舎1階相談室

Q 地域農業再生協議会補助金の内容は。

A これは農業の生産に関わる補助金で、米の生産調整など農家の営農計画の取りまとめや、事業の推進に係る事務費等に、国から町に補助金が交付され、協議会へ補助するものである。



植え替え作業が進む「室原すもも園」

**Q** 令和2年度から4年計画で行われているすもも園の木の更新事業について、事業の詳細はどうなっているのか。植え替え後の収入について、収益や売り上げの予測はできていて、今後の経費は管理料だけで済むのかなど、方向性についても議論していくべきでは。

**A** 更新後の収益については現在精査中であるが、来年度から収益は上がってくる。順次、すももの収穫量も増えてくるだろうが、方向性については説明していきたい。

**Q** 藤公園の樹木について、相当年数が経っているが、樹木本体や周辺の環境整備については今後どうなっていくのか。

**A** 藤公園は平成元年からスタートして、30数年が経過している。藤の木も老朽化など傷みが激しくなっている状況だ。今後の対応については技術的なことも踏まえて、関係者の意見を聞きながら対応を考えていきたい。

### 令和4年度国民健康保険 特別会計決算認定

**Q** ※1不納欠損額1432万3429円について、処分した理由や対象者の人数は。

**A** 対象は74名分で、地方税法の消滅時効の規定により不納欠損したものである。対象者の財産調査を行った結果、支払いができない滞納者や居所不明等により、督促や催促書が送達できない滞納者が処分の対象者である。

### 令和4年度介護保険 特別会計決算認定

**Q** 不納欠損額71万7965円について、処分した件数や状況はどうなっているのか。

**A** 対象は22名分で、2年の時効が14名、死亡が4名、居所不明が4名である。

### 令和4年度駐車場事業 特別会計決算認定

**Q** 以前農協と交換した土地を町営で駐車場にしていると聞いたが、どこに記載されているのか。

**A** 旧農協用地にある駅前商店街駐車場について、曾根地内の町の土地と交換して普通財産として取得したが、そのまま駐車場として管理している。駐車場金については、一般会計の土地建物貸付収入として処理している。

### 令和4年度公共下水道事業 特別会計決算認定

**Q** 2000年以前に建設された施設の耐震診断について、予算には計上されていたが、決算書にはあがっていない。事業は実施されたはずだが、その結果はどうなっているのか。

**A** 公共下水道事業ほか3つの特別会計について、本年4月1日から公営企業会計に移行した。これにより、令和4年度の決算は3月31日打ち切り決算になっているため、関係費用については、令和5年度の決算書に記載される。

耐震診断結果については、耐震不足の施設もあったが、更に詳しく耐震診断調査をすることにより、ピンポイントでの改修が可能となってくる。令和5年度において詳しい調査を進め、令和6年度から更新を進めていきたい。



町が所有する駅前商店街駐車場

#### 用語解説

#### ※1 不納欠損額

既に納入通知された歳入で、徴収できないと認定されたもの。

## 令和5年度一般会計補正予算 (第5号)

**Q**産地生産基盤パワーアップ事業補助金について、計画的に取り組む産地において、機械や果樹の資材に補助金を出すようだが、今回、JAが関わるブドウ農家で町内の1名が対象である。この取り組みの主体はどこで、生産基盤を良くする事業なのか、収益をあげるための事業なのか。

**A**事業主体はJA晴れの国岡山で、岡山県管内で7名の方が事業に参加している、1名が町内の方だ。佐伯のブドウ部会で生産活動を行っている。この事業の一番の目的は収益力強化である。

## 従来型の健康保険証の存続を 国に要請することの請願書

### 委員からの意見

保険証の件で、医療機関もトラブルで困っている。来年の10月までにエラーがなくなればよいが、エラーを防ぐために健康保険証も存続してやっていけばよいと考えているので、採択でお願いしたい。

## 和気鵜飼谷温泉 事業特別委員会

### 令和4年度一般会計 決算認定

### 令和4年度 和気鵜飼谷温泉事業 特別会計決算認定

**Q**歳出決算額に占める人件費について、人件費比率はどれくらいなのか。

**A**令和4年度決算における人件費比率は44%である。

**Q**歳入について、宿泊料や食事は令和3年度よりかなり増加しているが、雑入だけ4割程度に減少している。主な要因はなにか。

**A**令和3年度は、コロナ禍による時短要請があつて、それに伴う国の交付金があつたが、令和4年度においてはその部分が大きく減額となつている。

**Q**販売促進費、いわゆるPR経費は歳出の何%が適当と考えているのか。

**A**令和4年度の広告費等は、産業振興関連の予算に計上されていて、温泉事業会計には広告料の1万円のみの計上である。今後はホームページの改修などPR費用の予算をとって進めていきたい。

**Q**レストランや宿泊者の料理の提供について、原価率を考慮しているのか。

**A**原価計算は行っている。現在は原材料費の見直しを進めていて、原価率を少しでも下げるよう努力していく。量や質を落とさず、値段を上げないようにやっている。

**Q**客室の稼働率について、50%を超える程度だと思われるが、客室平均単価×客室稼働率の数字を上げていくのがホテル業界の通例であるが、その当たりのやり方はどうなっているのか。

**A**令和4年度の客室稼働率は53・8%で、1日当たり16・6室である。改善計画での目標は63・5%で、1日当たり19室程度埋まれば黒字に転換していく。

**A**客室の改修は長年の課題であり、貴の部屋も現在の生活様式にそぐわない。予算との関係もあつて改修に踏み込めないが、議会にも相談し、進めていきたい。

### 委員からの意見

人件費の比率が40%もあると商売にならない。町営だからやれるのであつて、民間では考えられないこと。議会としても鵜飼谷温泉を存続させたし、もっと良い施設にしてたくさん利用してもらいたいのので、これまでと同じ考え方で行わず頑張してほしい。



秋会席



法事会席

和気鵜飼谷温泉  
レストランメニューの紹介



その1

本議会の様子を動画で見ることが出来ます。くわしくはこちら！

ズバリ!  
ここが気になる!

# 一般質問

## 〈一般質問とは〉

一般質問とは、議員が和気町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を執行機関(町)に求め、適切な町政運営を進めているか議員がチェックするものです。一般質問は一問一答方式で行われ、質問時間は質問・答弁を合わせて40分間です。議会だよりでは、議員本人が執筆(要約)したものを掲載しています。9月議会定例会では9人の議員が質問しました。



PAGE

11

### 山田 浩子議員

- 自転車用ヘルメット購入費の助成は
- ひきこもり対策は
- 防災対策は

PAGE

12

### 居樹 豊議員

- どうする来年度予算
- 米飯給食と子どもの健康保持推進を
- 一人暮らし世帯の見守り体制の強化を

PAGE

13

### 従野 勝議員

- 産業振興施設の計画は
- 学校長寿命化計画に佐伯小学校も含まれているのか
- 町職員の指導は誰がどのように行っているのか

PAGE

14

### 山野 英里議員

- にこにこ園、学校におけるユニバーサルデザインと合理的配慮は
- 公共施設への生理用ナプキン設置は

PAGE

15

### 我澤 隆司議員

- 片鉄口マン街道を中心にした、人にやさしい町づくりはできないか
- 大災害時に迅速に対応するために災害対策基金を設けることはできないか
- 藤公園の支柱、美しい森の木製遊具の劣化への対応は

PAGE

16

### 神崎 良一議員

- バイオマス発電事業推進の本町の考えは
- 公用車入札と車検の関係は

PAGE

17

### 山本 稔議員

- 今後の観光振興は
- ゲートボール場の今後は
- 佐伯ストアーの今後は

PAGE

18

### 西中 純一議員

- 経営改善計画の実行計画はできているか
- 町営バスの運行計画の変更は
- 第9期介護保険事業計画は

PAGE

19

### 山本 泰正議員

- 人口減に伴う行政組織の統廃合は
- 消防団員の減員対策は

# 山田 浩子

山田浩子議員の  
一般質問動画は  
こちらから→



## Q 自転車用ヘルメット購入費の助成は

Q 和気町のヘルメット着用率向上に向けての取り組み、また購入費の助成についての考えは。

A 河野 危機管理室長

令和4年度、岡山県の自転車事故による死者は全員ヘルメットを着用していなかった。現時点では購入補助は考えていないが、ヘルメットの大切さや安全性、命を守ることの必要性を今まで以上に啓発していきたい。

Q 助成金を出している自治体もあるが。

A 河野 危機管理室長

現在、岡山県内6市2町1村が取り組んでいる。和気町としては、ヘルメットを必ず着用するように啓発し、その後、他自治体の取り組みを踏まえて研究していきたい。

## Q ひきこもり対策は

Q ①ひきこもりの実態調査は。  
②相談する専用窓口は。

A 松田 健康福祉課長

①令和4年度は49人。  
②専用窓口はない。年齢や障がいの有無など、相談者の状況や相談内容によって窓口が分かれている。

A 松田 健康福祉課長

社会福祉協議会が、総社市に何らか話を聞き、できるところから進めていこうと体制を整えているところである。町では相談窓口の周知、対応にあたる職員のスキルアップ、当事者会や家族へのアプローチなど、先進的な取り組みを参考にしながら進めていきたい。

A 太田 町長

ひきこもりについては早急に取り組む必要がある。各団体とも協力しながら取り組んでいく。

## A まずはヘルメット着用を啓発していく



和気中学校防災倉庫

いる。指定避難所と災害対策本部をウェブ会議システムでつなぐ通信訓練を定期的に行っている。今後も岡山県などと協力し、訓練には積極的に取り組んでいく。

Q ①備蓄品の一覧は。

②モデル地区の取り組みを共有する仕組みは。

③ペットを連れての避難は。

A 河野 危機管理室長

①一覧表は作成している。公表していく。

②県のモデル事業として、田ヶ原区、宮田区で取り組んだ。コロナ禍で町内に広げる取り組みができていなかったで、これから広げていけるよう計画している。

③ペットを連れて避難するのは構わない。

## Q 防災対策は

Q ①避難場所の整備状況は。

②各避難所の備蓄品の種類や数量などは。

③指定避難場所における開設訓練や防災訓練の取り組みは。

A 河野 危機管理室長

①町内には99か所の避難所がある。これまでトイレの洋式化、発電機や投光器、Wi-Fiなどの整備、折り畳み式ベッドやプライベートルームなどの購入を行い、各施設の環境整備や設備の充実を図ってきた。今後も誰もが安心して過ごせる避難所を目指し、取り組みを続けていきたい。

②南海トラフ地震の被害想定を基にした和気町備蓄計画を平成29年に策定し、計画的に購入を行っている。想定避難者478人と、帰宅困難者、応急対策要員などを合わせた人数の3日分の備蓄がある。

③災害時に迅速に開設できるよう体制を整備して

# 居樹 豊

居樹豊議員の  
一般質問動画は  
こちらから→



## Q どうする来年度予算

**Q** 太田町政の約1年6か月、3つの基本姿勢を掲げ、手堅く行政運営に努めてきているが、町民生活にとって身近で最も重要な予算をどのように考えているのか。

**A 太田町長**

令和6年度の予算編成にあたっては、基本的な考え方は継続していくが、4年目にあたる第2次和気町総合計画の着実な進展に努め、町民の安全・安心、人口減少、少子高齢化社会への対応を念頭に施策を推進していきたい。

**Q** 町民は、自分の生活が一番であり、和気町と言えば「福祉のまち」と評価されるような「福祉ビジョン」の策定が求められていると思うがどうか。

**A 太田町長**

今後も福祉施策の充実を図り、安全・安心でやすらぎを実感できるまちにしていきたい。



町政の本丸 役場本庁舎

## A 安心して住み続けられるまちづくりを推進する

## Q 米飯給食と子どもの健康保持推進を

**Q** 学校給食は成長期の子どもにとって身体づくりの基本である。今後の米飯給食のあり方についての考えは。

**A 嶋村 学校教育課長**

本町の学校給食の主食は、週3日が米飯で、あと2日はパンと麺である。学校給食については子どもの心身の健全な発達に資するもので、重要な役割を果たしている。食生活が多様化する昨今、学校給食への期待や担う役割は大きいものがあり、今後も学校給食のあり方について検討を重ねていきたい。

**A 徳永 教育長**

子どもの心身のバランスのとれた発達のため、学校給食が果たす役割は大変大きいものがある。県教育委員会の管轄する部署とも情報共有し、引き続き研究していきたい。

## Q 一人暮らし世帯の見守り体制の強化を

**Q** 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、高齢者福祉サービスが行われている。しかし本町の高齢化率は本年8月末時点において40.2%で、県下で8番目に高齢化が進んでいる。高齢者の行政ニーズは、今後ますます高まり、特に一人暮らし世帯の見守りの体制の充実強化が必要であると思うがどうか。



一人暮らしを含む高齢者の見守りに関する意見交換会

**A 万代 民生福祉部長**

本町では毎年、民生委員による一人暮らし老人等の調査を行い、情報共有を図っており、今年度の調査では、767名の一人暮らしの方がいると把握している。また、地域包括支援センターにおいて80歳以上の一人暮らし世帯などを専門職員が自宅訪問し、安否確認や健康状態などを把握している。

民生委員や社会福祉協議会等との見守り体制を構築して、地域の企業や事業者との連携を図り、支援が必要な方の早期発見に努めている。

**A 今田 副町長**

多様な個人や団体による複層的な見守り活動が重要と考えている。地域のつながりが希薄している中ではあるが、サロンなどの交流活動による住民同士の見守りがより一層重要になっている。

# 勝 野 従

従野勝議員の  
一般質問動画は  
こちらから→



## Q 産業振興施設の計画は

Q 昨年の町政懇談会で、約4年間休止していた道の駅整備構想について、「地元との協議を再開する」と町長から答弁があった。

この産業振興施設については、地元の山田地区だけでなく、佐伯地域も非常に関心を持っているが、町はどのように佐伯地域の振興を行っていくつもりなのか。

### A 今田 副町長

現在、検討会を開催して、どついつつ特色を持った施設にするのか、何を目玉にして集客を図るのかなど協議を進めている。

この定例会に「基本計画作成業務」に係る補正予算を上げているが、基本計画作成後は、計画内容について提案を行い、議会の意見も反映していきたい。

### A 太田 町長

Q 佐伯地域にはコンビニがあるが、それ以外には店舗がほとんどなくなった。皆がくつろげる場所や佐伯地域の農産物販売所ができるよう進めてほしい。

佐伯地域の活性化、新たな賑わいの創出に必要な事業であるので、地元の意向を最大限に反映させる施設として取り組みを進めていきたい。

## A 佐伯地域の活性化、新たな賑わいの創出に必要な事業だ

## Q 学校長寿命化計画に佐伯小学校も含まれているのか

Q 小学校の児童数が非常に少なくなっているが、学校長寿命化を踏まえて、佐伯中学校と佐伯小学校を小・中一貫校として、特色のある学校を作ってみてはどうか。

佐伯地域の小学校及び中学校が小・中一貫校になれば、保護者も佐伯地域へ住んでみたいと思うので、長寿命化のため改修するのではなく、この機をチャンスと捉えて進めたらどうか。

### A 徳永 教育長

提案があった小・中一貫校について、検討が必要な教育制度であると考えている。佐伯小学校の長寿命化改修について、併設型の小・中一貫校として整備するのであれば、今後の取り組みをどうするかが大きな課題となってくる。地域や保護者の思いを踏まえ検討、研究を重ね、令和7年度をひとつの区切りとし、その方向性を出していきたい。

### A 太田 町長

令和7年度までに一定の方向を定めて、議会に報告を行い進めていきたい。



長寿命化に向けて改修が進む佐伯中学校

## Q 町職員の指導は誰がどのように行っているのか

Q 町職員として採用されたら、元気で職務を全うしてもらいたいですが、町職員の指導はどうなっているのか。

### A 永宗 総務部長

住民の身近で職務に従事する町職員に対して、業務の執行や窓口における待遇対応等について厳しい視線が日々向けられている。今後も規律の保持あるいは職員指導について改めて徹底を行い、自覚と責任を持った職員の育成に努めていきたい。

# 山野 英里

山野英里議員の  
一般質問動画は  
こちらから→



## Q にこにこ園、学校におけるユニバーサルデザインと合理的配慮は

## A 個人の適正な発達を促していく取り組みをしている

**Q** 障害者基本法では、国及び地方公共団体は、障がいの教育に関し、調査及び研究並びに人材の確保及び資質の向上、適切な教材の提供、学校施設の整備、その他の環境整備を促進していかなければならないと明記されている。  
にこにこ園、小中学校における※1ユニバーサルデザイン(以下UDと表記する)と、※2合理的配慮の現状は。

### A 嶋村 学校教育課長

UDは、就学前から、短い言葉や図を用いた明確な説明、活動の見通しの視覚支援などを行っている。就学後は、文字の色やフォント(書体)を調整したりする刺激量の調整、係や当番の手順を提示など、学級環境を整備。動画やICTを活用したりする視覚化など、授業のUD化も図っている。

合理的配慮については、各園校の基礎的環境整備を基に個別に決定されるものであるため、基本的には本人や保護者との合意形成を図りながら実施している。

**Q** ①担任だけでUDや合理的配慮を決めていくのか。  
②本人だけではなく、保護者や地域の方も、教育において、UDや合理的配慮を知らない人も多いと思うがその対応は。

### A 嶋村 学校教育課長

①学校園では、授業づくり、環境づくり、集団づくり、体制づくりを視点としている。

合理的配慮は、この4点が校園内で共有された上で提供されるもの。基本的には、個人的に担当が決定したりするものではない。

②最近では、多彩な配慮がされている学習用具が発売されている。園には様々な学習用具があることを周知しており、今後は、園から保護者や地域の方へも伝えていきたい。

### A 徳永 教育長

町として、一人一人の適正な発達を促していく取り組みをしている。

共通支援シートで、就学前からの子どもの様子を1枚のシートにまとめ、健康福祉課と学校教育課で共有している。

**Q** 学習障がいは、文字が読みにくい、上手く字が書けない、数の概念の習得が難しいなどの症状がある。学校へ入学してからも気づかれないことが多い。  
多層指導モデル※3MIMの導入はできないか。

### A 嶋村 学校教育課長

近年、特別支援のソフトウェアの開発が進んでいる。開発状況の注視、そして活用例や効果などを研究していく。



にこにこ園でのユニバーサルデザイン

※1 ユニバーサルデザイン(UD)とは…障がいの有無、年齢、性別、人種等にかかわらず、多様な人々が利用しやすいよう、都市や生活環境をデザインする考え方。

※2 合理的配慮とは…障がいの者から何らかの助けを求める意思の表明があった場合、過度な負担になり過ぎない範囲で、社会的障壁を取り除くために必要な便宜。

※3 MIM(ミム)とは…異なる学力層の子どものニーズに対応して、アセスメントや指導を繰り返しながら、読みやすさなどを育む指導・支援ツール。

## Q 公共施設への生理用ナプキン設置は



生理用ナプキン提供機器のイメージ図

**Q** 女性の心身の健康や経済的な負担を考えると、町内の公共施設、学校などに生理用ナプキンを設置できないか。

### A 松田 健康福祉課長

町内の小・中学校では、保健室に予備の生理用ナプキンを常備している。中学校では、女子トイレの個室や小スペースにも設置している。町内の公共施設は、現時点では設置していない。個室トイレに生理用ナプキンを常備し、提供するサービスの導入に向けて検討している。

### A 太田 町長

生理用品も、サニタリー用品の一部だと考えている。ジェンダーギャップの是正の観点から、生理用品もトイレットペーパーと同様に無料設置されている社会を目指したい。

# 我澤 隆司

我澤隆司議員の  
一般質問動画は  
こちらから→



**Q** 片鉄ロマン街道を中心に、人にやさしい町づくりはできないか

**A** 旧大國家住宅の活用を含めて検討したい

**Q** 和気駅周辺や曾根、本和気地区は徒歩と自転車中心の町づくりができないか。  
国土交通省が掲げる※1ウォーカブル推進都市、イタリア発祥のスローシティを目指すことは考えられないか。

**A** 松田 健康福祉課長

健康づくりの面でも貴重な資源だ。ウォーカブル推進都市は、主に都市部での取り組みで、和気町にはなじまない。スローシティは、国内では気仙沼市と前橋市が加盟。和気町にふさわしいか、今後検討したい。

**A** 太田 町長

歩いて暮らせる町づくりはいいと思う。旧大國家住宅の活用も含めて検討したい。

**Q** 片鉄ロマン街道を全区間走ってみたが、路側帯のないところがあり夜間時には危険だ。改善計画は東備地域事務所との連携かと思うが。

**A** 西本 都市建設課長

路側帯については、関係各所からは聞いていないが、気づいた点は町からも指摘していきたい。

**意見**

和気町は人口1万3000人ほどの小さな町だ。今後生き延びるためには、先進的な町づくりの指標が必要と考える。



人にやさしい町づくりに向けて片鉄ロマン街道の活用を

※1 ウォーカブル推進都市とは…「居心地が良く歩きたくなるまちなか」づくりを目指す政府の方針に賛同し、事業推進に取り組む自治体を指す。国土交通省がR元年7月に募集を始めたもので、都市部に限ったものではない。R5年9月30日現在352自治体が加盟。

**Q** 大災害時に迅速に対応するために災害対策基金を設けることはできないか。

**Q** ① 町民を、金銭的に救うためにも必要と考えるが。

- ② 他地域での大災害時に、和気町の職員を迅速に派遣する際にも必要だと思うが。
- ③ 財源はふるさと納税なども考えられないか。

**A** 海野 財政課長

和気町では、財政調整基金を設けている。大規模災害時にも迅速な対応が可能。令和5年6月末時点での基金残高は約31億円。

① 和気町では、被害を受けた場合に1世帯当たり最

**意見**

答弁はよく理解できるが、なぜ彦根市や吉備中央町などが災害対策基金を設けているか、検討する価値はあると思う。



老朽化が進む藤棚

**Q** 同時期に開園した渋川藤公園や、長船の美しい森を視察し比較してみたが、和気町の施設の劣化が目立つ。今後の対策をどのように考えているか。

**A** 岡 産業振興課長

藤公園の支柱建て替えは、令和3年度の当初予算に計上したが、全て減額した経緯がある。今後、取り替え工事を計画。工法決定後に改めて予算を計上する予定だ。

和気美しい森の木製遊具は、複数

**意見**

和気町で事故が起きる前に再点検して、場合によっては使用禁止などの対策を講じていただきたい。

**A** 今田 副町長

藤公園の支柱については、試行的な工事を行った上で、早急に対応する。木製遊具についても、子供たちが安全に遊べるように、早期に改修を進めていきたい。

**Q** 藤公園の支柱、美しい森の木製遊具の劣化への対応は



## Q バイオマス発電事業推進の 本町の考えは

## A 燃料となる木を出せる業者を 育て、事業を推進

Q ①和気町森林整備計画の内容は。

②令和5年4月1日の改定内容は。

③和気町森林経営計画とは。

④これらの計画はバイオマス発電の燃料資源確保に繋がるか。

⑤早生樹木であるヤナギがバイオマス燃料として注目を集めているが、それを踏まえた今後のバイオマス発電事業進展についての本町の考えは。



バイオマス構想に向けた広葉樹の試験伐採

### A 岡 産業振興課長

①森林整備計画とは、岡山県の地域森林計画に沿って市町村が策定する10か年の計画で、森林関連施策の方向や森林所有者が行う伐採や造林などの森林施業の標準的な方法などを定めたもの。町の森林、林業のマスタープランとなる計画だ。

②令和5年4月1日の改正内容は、上位計画である岡山県地域森林計画改定に伴い、和気町森林計画も現時点で修正する必要があり、区域内の資源量の二部変更、不要な計画の削除など軽微な変更を行った。

③森林経営計画とは、森林の所有者、また

### A 太田 町長

は森林の経営の委託を受けた者が、自ら森林の経営を行うままとまりのある森林を対象として、森林の施業及び保護について作成する5か年の計画のこと。

④森林整備計画は、木質バイオマス発電事業にとって直接的に影響はないが、森林経営計画によりバイオマス発電の燃料資源の確保につながる可能性がある。

⑤木質バイオマス発電を進めていくには、どれだけ木を出せるかが勝負になる。その関係者の育成を進めていく。広葉樹は伐採すると、約15年周期で再生すると言われているので、早く育つヤナギ等を植えていくことも考えている。

## Q 公用車入札と車検の関係は

Q ①公用車両は必ず購入落札した業者が車検を行うと聞けが、過去10年間の入札実績は。

②過去10年間の車検実績は。

③今後の公用車の入札方法と車検の在り方は。

### A 永宗 総務部長

①過去10年間の実績の詳細は確認できなかったが、平成30年度から直近5か年では、公用車の調達方法を、購入方式からリースの方式へ一部シフトしたこともあり、5年間では2業者から購入が4台、5業者からリース18台を調達している状況だ。

②令和4年度、町所有の車両48台、消防団管理の消防車両30台を、町内13事業者で行っている。

### A 太田 町長

③町内の事業者は、真摯に仕事を行っているので今の方式で問題ないと認識している。

# 山本 稔

山本 稔議員の  
一般質問動画は  
こちらから→



## Q

### 今後の観光振興は

## A

### 各方面で精力的に取り組む

Q ① ロマンツエを含む三保高原スポーツ&リゾートの利用について、キャンプ場の新設をしないか。また、りんご祭りやりんご狩りなどを利用した集客をしないか。

② 片鉄ロマン街道を利用した取り組みはできないか。

③ 吉井川河川公園の利用方法は。

④ 和気町の歴史と景観を利用した取り組みはできないか。

## A 岡 産業振興課長

① 現在、スポーツ合宿などの団体客をターゲットにしている、さらなるスポーツ合宿の集客に向けての戦略や、サイクリングやトレイルランなどの立ち寄り場所としての活用も検討していきたい。

また、りんご狩りのできる宿泊施設として、SNSも利用しながら、利用客増加に向けた情報発信を積極的に行っていきたい。

② 今後はスポーツや健康づくりの観点も取り入れ、イベント開催だけでなく、インフラやサポート体制の整備など、様々な取り組みを進めていきたい。

③ 芝生化したことで、町内外のスポーツ愛好家に活用してもら

えるよう予約を開始している。グラウンドゴルフなどと合わせて「スポーツを核とした交流の推進」の拠点として活用していきたい。

## A 井上 総務事業課長

④ 今後、地域資源を活用した形でのモデルコースを設定するとともに、パンフレット等で周知できるように準備を進めていきたい。

① 新しい集客については新たな投資と人員も必要となるため指定管理者と今後のことについて協議していきたい。

## Q

### 佐伯ストアの 今後は

Q 佐伯ストアの今後の利用は考えているか。

## A 井上 総務事業課長

現在は新たな取り組みができておらず、今後地元区や企業と協議しながら、利活用策を図りたい。



「旧佐伯ストア」  
早急な利活用が望まれる

## Q

### ゲートボール場の 今後は



間もなく解体される  
鵜飼谷体育施設屋内ゲートボール場

Q 和気鵜飼谷体育施設屋内ゲートボール場を他の目的で使用するが今後はどうするのか。

## A 森元 社会教育課長

今後は新規に施設を作るのではなく、吉井川河川公園や和気ドームの使用を提案していく。

# 西中 純一

西中純一議員の  
一般質問動画は  
こちらから→



## Q 経営改善計画の実行計画は できているか

Q 和気鶴飼谷温泉の経営改革の実行計画は出来ているか。

A 大竹 鶴飼谷温泉支配人

改革の方向性については「和気鶴飼谷温泉事業改善計画」や「観光施設事業経営戦略」のとおりである。コロナ禍で今まで実施に至っていなかったが、5月8日以降2類から5類へ移行となったことで本格的に実行に移った。成果と課題を検証し不連続の改革に取り組んでいく。議会へも報告していく予定である。

Q 営業目標をもって従事しているか。

A 大竹 鶴飼谷温泉支配人

改善計画の指標をクリアすることを目標に業務に取り組んでいる。お客様の利用形態の変化やニーズへの対応を各部署において模索状況で、SNSや広報紙等での発信、サービスプランキャンペーンの検討実施、営業形態の検討、ツーリストへの営業などできることはすべて実行に移している。

Q コスト意識を持ってもらうための原価計算の研修を行う予定はないか。

A 大竹 鶴飼谷温泉支配人

研修をする予定はない。採算部門、不採算部門の洗い出しを行っていたが、見直しだけでは対応しきれない不採算部門の取り扱いの検討を行っている。

## A 成果と課題を検証し 課題の改革に取り組んでいく

## Q 町営バスの運行計画の変更は

Q アンケートの総括ができたのか。

A 河野 危機管理室長

アンケートは昨年1月末から2月17日の期間実施した。回収数は4268部になる。自動車運転免許の非保有率は20.4パーセントで、10代や80歳以上で持っていない人の割合が高くなっている。町営バスの認知度は、平成28年度に行った調査に比べると数値的に高くなっているが、マイカー利用が多いため、町営バスの利用頻度は低い。バスを利用している人は、利用したことがない人に比べ満足度が全体的に高く、特に料金やバス停のわかりやすさ、バス停までの距離などが満足度が高い状況である。

A 河野 危機管理室長

今後の運行のコンセプトは現在、地域公共交通会議にて協議を行っている。前計画と似かよった部分もあると思うが、さらにプラスアルファしていくことでより町民の方のニーズに沿う計画にしていきたい。本計画の策定に当たっては、コンサルタント会社に委託しており、本年度中に計画策定を行う。委託契約は単年度ごとに行っている。路線の見直し等については令和6年度以降に地域公共交通計画をもとに取り組んでいく。

Q 運転手の接遇研修は実施しているか。

A 河野 危機管理室長

お客様から運転手の接遇について意見や指摘を受けたら、その都度該当の運転手へ聞き取りを行い改善するよう指導している。

## Q 第9期介護保険事業計画は

Q 第9期の介護保険事業計画の変更を来年度実施する予定だと聞いている。介護保険法の改定で何が変わるか。大きな変更点や記載を充実するものは何か。

A 万代 民生福祉部長

第9期の国の基本指針案及び改正案では、現在は地域包括支援センターに限定されている要支援者のケアマネジメントを、居宅介護支援事業所にも指定対象を拡大することが予定されている。これにより地域包

括支援センターの業務負担が軽減され、地域住民の複雑化されているニーズへの対応をより適切に行う体制が整えられる。保険料の段階設定について高所得者の標準乗率の引き上げと低所得者の標準乗率の引き下げなどの見直しが検討されている。更には給付負担割合が2割となっている方の所得判断基準の見直しが行われる可能性がある。今後、国の方で議論され年末ごろ具体的なことが決定される見通しである。

# 山本 泰正

山本泰正議員の  
一般質問動画は  
こちらから→



## Q 人口減に伴う行政組織の統廃合は

**Q** 和気町と佐伯町が合併し、18年を経過したが人口減少は止まらない。

合併当時1万6千600人余りの人口も、現在1万3千300人余りと、3千300人余りの人口減となっている。

高齢化が進み、合併当時 19世帯・34人の行政区も、現在6世帯・9人と大幅に人口減が進んでいる。この状況下では、行政区の機能が危ぶまれているのではないかと。他にも50世帯を下回る行政区も7行政区とのことだが、行政区としての運営に苦慮している地区はないのか。

### A 永宗 総務部長

人口減少・高齢化の進展により、集落・行政区は運営をはじめ様態は大きく変化しており、様々な懸念の声も多く聞いている。

行政区には、それぞれの歴史と慣習やコミュニティ、そして、区有財産もあり、行政として行政区の統廃合を、先導・誘導することは現時点では考えていない。

**Q** 行政区は自主組織であり区の考えを優先することは当然であることは言いつまでもないことだ。

区長の選出にも苦慮している行政区もあることや、コミュニティハウスの管理や防犯灯の維持管理等、当然経費も必要だ。また、道路・河川の管理も必要で、人口減と高齢化で苦慮している。人にやさしい町政を推進する太田町政だから、地域にも優しく地域の声を聞き、行政主導で改善すべき時期ではないか。

### A 太田 町長

行政区の管理運営に苦慮している行政区があることは承知している。

行政主導で行政区の統廃合を進めることは、それぞれの集落のコミュニティもあり、財産もあり、なかなか難しい面もある。

今後、区民の方々と一緒に考え、知恵を絞っていききたい。

## A 地域の想いを優先したい

## Q 消防団員の減員対策は

**Q** 消防団員の基準団員は700人だが、現在の団員数は577人と123人の団員不足だ。

基準団員数の半数以下の部は9部とのことだが、機能不全ではないか。そこで、部の統廃合は考えられないか。また、高齢化が進む中、昨今想定外の豪雨など消防団への依存度は高まっている。

今後の方針は。

### A 河野 危機管理室長

消防団員の現状は近年、新入団員より退団者が多い状況が続いている。

また、実際に活動できていない団員調査を行い、約50人が退団した。

団員不足で苦慮している分団及び部もあるが、工夫しながら地域の防災力の維持に努めている。部の統廃合を行政が主導することはできないが、本年度から消防団員のOB等を中心に、「機能別消防団員」を募集しており、火災や水害等に対応していきたい。

消防団の団員状況 (単位：人)

分団名	基準 団員数	現有 団員数	団員 増減数
本部	69	51	△ 18
1分団	141	129	△ 12
2分団	84	63	△ 21
3分団	67	56	△ 11
4分団	59	50	△ 9
5分団	78	62	△ 16
6分団	107	100	△ 7
7分団	51	40	△ 11
8分団	44	26	△ 18
合計	700	577	△ 123

(令和5年4月1日現在)



## 表紙写真を 募集しています



あなたが撮った写真が『議会だより』の表紙になります！

発行月(1、4、7、10月)にふさわしい町民の笑顔やイベント行事などの写真をお送りください。

採用になったお写真は、『議会だより』表紙に掲載するとともに、誌面で紹介させていただきます。また、和気町PRグッズを差し上げます。

\*詳しい応募要項は、和気町議会ホームページをご覧ください。事務局までお問い合わせください。



写真はイメージです。

## 今月の表紙

### 「秋晴れの空に向けて みんなでワッショイ」



一部加工・トリミングして掲載しています。

撮影場所：宮田地内

撮影者：橋 隆介

コメント：「宮田子ども会」親子参加による子どもみこしの一コマ。

宝くじ助成事業で購入して、初お披露目の黄金色のおみこしが秋真っ盛りの町並みに映えていました。

## 編集後記

今回、中学生を対象に子ども議会が開かれました。和気町では初めての試みであり私たち議員にとっても、良い刺激となりました。町政に対して明確な意見を持ち、議論している姿がどの子ども輝いていました。

子ども議会を通して、改めて、町政とは誰のためにあるのか、考える機会となりました。町の未来について、大人だけでなく、子どもたちも含めて、町民全員で議論していくことも必要ではないでしょうか？

町内では、個性豊かな12人の議員が活動しています。ぜひ、議会だよりを参考にして推しの議員を見つけて、町政に興味をもっていただくと活動の励みになります。

(山野 英里)



和気町議会だより 第70号 令和5年10月25日発行

和気町議会広報編集委員会 岡山県和気郡和気町尺所555番地 TEL0869-93-1121(代)  
和気町議会ホームページ <https://www.town.wake.lg.jp/gyosei/choGikai/>



和気町議会  
ホームページはこちら！

和気町議会 検索